

【学習の目標と学習方法】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことをねらいとします。

<p>授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自分の制作と照らし合わせ、作品の制作を計画的に取り組む。 * お互いの作品について、良いところや問題点を話し合い、自分の作品に生かそう。 * 作品は最後まで作り上げ、自分の作品も人の作品も大切にしよう。 <p>生徒のみなさんに</p> <ul style="list-style-type: none"> * 授業時数が少ないので、毎時間の授業時間を無駄にしないで大切にしよう。 * 説明をよく理解し、集中力を持続させて制作しよう。 * 自分なりの表現方法を工夫して、楽しんで制作しよう。 * 宿題や提出期限を守ろう。 	<p>家庭学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 身の回りのあらゆるものに目を向け、美しいと感じるものを増やしていきましょう。学んだ作品やものの見方を日常生活でも見つけましょう。特に授業で取り上げたことは日ごろから復習しておきましょう。 <p>試験前はこのように取り組もう</p> <ul style="list-style-type: none"> * 制作の手順や注意点を思い出し、重要なポイントや言葉を復習しましょう。 * プリントや教科書・資料集をよく読み、鑑賞のポイントなど全体を把握しましょう。
---	--

	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価観点	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。	感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。
評価資料	・提出物(プリント、授業記録カード、作品) ・定期テスト ・授業観察	・提出物(プリント、作品) ・定期テスト	・提出物(プリント、作品) ・定期テスト	・提出物(プリント、作品、鑑賞カード) ・定期テスト

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	自画像 12h		鑑賞・三原色 6h		夏休み		彫塑・鑑賞 17			冬休み	ポスターデザイン・レタリング・鑑賞 10	
計45h												
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	名画模写・鑑賞 13				夏休み		彫塑・鑑賞 13			冬休み	パッケージデザイン・鑑賞 9	
計35h												
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	ムンク!!! 13				夏休み		陶芸・鑑賞 13			冬休み	キーホルダー・鑑賞 9	
計35h												